

湖沼調査（国土地理院）の概要

1. 目的と調査概要

湖沼調査 (<https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/koshouchousa.html>) は、国土地理院が国土の基本的な構成要素である湖沼について、1955（昭和 30）年以來、湖底地形・底質・水生植物の分布等を調査し、その結果を縮尺 1 万分 1 の湖沼図や湖沼データにとりまとめ、湖沼の利用、開発、保全、環境計画、管理計画や漁業等の基礎資料として提供することを目的に実施している。なお、2014（平成 26）年以降は、湖底地形のみの調査となっている。

（1）湖底地形調査

測量船に取り付けた音響測深機で、湖底からの音波の反射時間で湖の深さを測定。船の位置情報は GNSS 衛星を使い、深さと同時に取得。正確な深さを求めるため、水中音速度の計測や水位観測を実施し、その結果を音響測深機で取得した水深データに補正している。

（2）底質調査

湖底表層物質を採取し、色や臭いなどを記録。粒度分析により分類し、底質の分布を調査。

（3）水生植物調査

空中写真判読や現地調査により、水生植物の種類や分布状況を調査。

（4）湖沼関連地名調査

湖沼を構成する自然地名（瀬、島、浜など）について関係市町村等に確認調査を実施。

2. 調査成果等

これまで全国約 80 湖沼を調査

調査実施湖沼一覧：<https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/koshouchousa-list.html>

調査成果は、①湖沼データ、②湖沼カタログ・カードとして公開

※調査実施湖沼一覧の湖沼面積は、国土地理院が毎年実施している全国都道府県市区町村別面積調（湖沼は 1km² 以上の湖沼が対象）

(<https://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MENCHO-title.htm>) の数値を主に使用。

①湖沼データ

数値データ（GML、シェープファイル、CSV、TIFF）と湖沼画像データ（PDF）で構成。

数値データは湖底地形データ（水深点、等深線、湖岸線）、水深グリッド（DEM）、底質データ、水生植物データ等。

湖沼画像データは数値データを用い、地図情報レベル 10000 で作成。

平成 30（2018）年から、湖沼部の地形を等深線で表現した「湖沼図 基図」及び段彩で表現した、「湖沼図 段彩図」の画像データを提供。

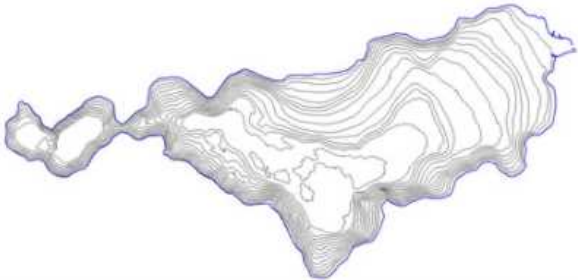

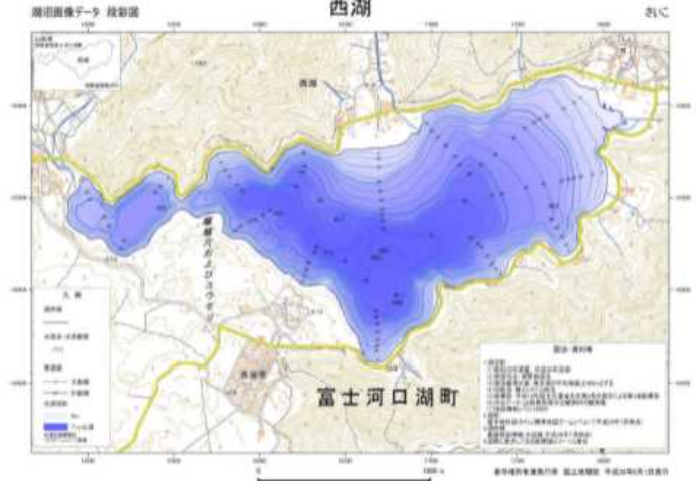
※地理院地図（電子国土 Web）でも表示可能

<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

②湖沼カタログ・カード

湖沼画像データを縮小した図を一覧できるようにした図録 (PDF)。表面に湖沼画像データの縮小画像、裏面に湖沼の概要が記載されている。湖沼データのダウンロードや、湖沼と周りの地形を一目で見る等の利用が可能。A4 縦サイズで縦 2 列横 5 列に切ることによって名刺サイズ (91mm×55mm) の湖沼カードになる。

○湖沼データの例

<p>数値データ 等深線、湖岸線の例 「西湖」</p> <p>データ形式:GML, シェープファイル, CSV, TIFF</p>	
<p>湖沼画像データの例 「西湖」</p> <p>データ形式:PDF</p>	<p>湖沼画像データ 基図</p> <p>西湖</p>  <p>湖沼画像データ 基図</p>
	<p>湖沼画像データ 段彩図</p> <p>西湖</p>  <p>湖沼画像データ 段彩図</p>